

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	建設部
	08183-1	景観づくり推進事業	室名	都市計画室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	05:景観づくりの推進	務	款 土木費
	施策の方向	01:美しい景観の形成	科	項 都市計画費
戦略プロジェクト		目	目 都市計画総務費	

② 目的・概要	対象	
	目的	平成22年10月25日に、県下7番目の景観法に基づく景観行政団体へ移行し、平成23年9月1日より、亀山市景観計画による景観指導や事前相談、届出事務等を行っている。本市の景観行政を踏まえ、景観指導に関するマニュアルや基礎資料の作成、有識者による現地指導、地元説明会や懇談会等を行い、良好な景観の保全・創出に努める。

			24年度	25年度	26年度
③ 指標	活動	① 名称 景観マニュアル作成のための調査や懇談会の開催	計画値		
		補足	実績値	3	3
			単位	回	回
	成果	② 名称	計画値		
		補足	実績値		
			単位		
① 補足	名称 景観マニュアルや資料作成	計画値			
		実績値	眺望景観指導用資料作成	携帯基地局ガイドライン案作成	景観に関する届出フロー一部改正
		単位			

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					景観に関する届出フローについて、亀山市景観審議会の部会意見を参考に一部改正の案を作成した。			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,701	平均給与額×③
		事業費		200	0	一般職員人件費 ②	3,701	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.50	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		⑤ / ⑥
		その他				受益者負担率	0.0%	
		一般財源		200	0			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	3,701				
	総コスト		⑥	3,701				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	景観審議会の部会の意見も参考に、届出フローの一部改正案を作成することができた。	総合判定
			B まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	景観行政団体となり、3年間の景観届出事務をふまえて、届出フローの中に「注意・指導」の項目を入れることで、現在の指導状況にあったフローとすることができ、景観指導が行いやすくなったが、引き続き協議を進めていく必要がある。
	【改善の方向性】	景観に関する届出事務中心から、具体の良好な景観形成のため、地域と計画づくりや景観に関する協議を継続して進めていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 都市計画室長 橋場 徹広
--------------	---------	-----------------------